



2019年8月8日 第2384回例会
8月第2例会

RIテーマ ROTARY:ROTARY CONNECTS THE WORLD
「ロータリーは世界をつなぐ」

本年度会長テーマ
「原点を確かめ、もっと親睦、もっと奉仕を！」

「会員増強・新クラブ結成推進月間」「平和月間」

◆ 会長時間 ◆

斎藤会長



8月7日、青少年交換派遣学生の奥田麟太郎君がサンフランシスコに向けて広島空港から元気に出発されました。留学先は、サンフランシスコの南約30kmのサンマテオという町のアラゴン・ハイスクールです。

8月6日は74年目の広島原爆記念日でした。松井一實広島市長は平和宣言の中で、「眼前的の肉親の悲惨な情景」を詠んだ当時5歳だった女性の短歌や、当時18歳で体験した男性の訴えとして「男女の区別さえ出来ない人々の肉体の惨状を描写した言葉」を紹介しています。これは広島が一瞬のうちに地獄絵図と化した被爆の実相を知つてもらうために、ためらいなく取り上げられたものだと思います。

そして、日本政府には核兵器禁止条約への署名・批准を求める被爆者の思いをしっかりと受け止めてほしいと訴え、インドの独立に貢献したガンジーの残した言葉として「不寛容はそれ自体が暴力の一形態であり、眞の民主的精神の成長を妨げるものです」と紹介しました。

「寛容」の心はまさにロータリーの心、平和へつながる心だと思います。ここで、ポール・ハリス語録の一つをご紹介します。「ロータリーが、事業と専門職務に携わる人の間に世界的な親睦をつくることができたのは、寛容の精神のおかげですが、この寛容の精神をもってすれば、世の中に不可能なことはなくなるでしょう。」(ロータリーへの私の道より)



青少年交換派遣学生 奥田 麟太郎 君 お見送り



グループ 大藤 良治 (おおとう よしはる)
ガバナー補佐ご挨拶



小島 謙介 君 退会挨拶

拝啓、このたび広島西ロータリークラブを退会させていただくにあたり、本来であれば退会挨拶に伺うところではございますが、挨拶文にかえさせていただくことをご容赦ください。

思い起こせば、昭和57年4月、村田 正太さんと隅田 義彦さんの紹介により入会しました。37年間、多くの皆様に知り合い楽しくロータリークラブで過ごすことができました。本当に感謝です。

これからも体調に気を使いながら、もう少し人生を楽しもうと思っています。

長い間、広島西ロータリークラブの皆様ありがとうございました。

敬具

令和元年8月8日

●会務報告 加藤幹事

※次週例会は休会となっておりますので、お間違えの無いようお願いいたします。メークアップの必要はありません。

※例会終了後、4階「カメリア」において大藤ガバナー補佐をお迎えしての第2回クラブ協議会を開催いたしますので、理事役員及び各委員長は出席願います。

●委員会報告

※プログラム・出席委員会

出席報告 梶本副委員長

本日(8月8日・木曜日)

会員数 86名 出席者 80名

欠席者 6名 ご来客 0名

ご来賓 3名 ゲスト 3名

計 86名

前々回(7月25日・木曜日)

出席率 100%



※広島修道大学ひろしま協創中学校・高等学校 インタークラブに上期育成費(目録) 贈呈と、インタークラブ活動報告

みなさん、こんにちは。

本日はこのような会に参加させていただき、本当にありがとうございます。

さっそくではありますが、2019年4月1日から8月8日までの修大ひろしま協創インタークラブの活動報告をさせていただきます。

私たちは毎週金曜日に例会をおこなっています。現在の部員数は、34人です。

活動につきましては、この4月から本日までの間、計7回おこなっています。その内訳をご報告します。

・4月28日と5月12日

あしなが育英募金

・5月3日から5日にかけて

フラワーフェスティバルのブース運営

これは、来場者に折り鶴をおってもらい、透明なガラスケースに入れて平和の願いを共有しようという試みです。

- ・5月25日 インタークラブ指導者研修会への参加
- ・6月16日 修大ひろしま協創高校オープンスクールの運営補助
- ・7月20日 障害のある児童とのふれあい交流
- ・7月25日 日本赤十字血液センターへの施設見学
- ・7月27日から28日にかけて インタークラブ地区大会への参加

です。

活動経験の浅い部員が多く、まだまだ手探り状態ですが、学校内外で私たちができるることは、実はたくさんあるのではないかと感じています。

4月からの活動を通して実感しているのは、ふだんの学校生活はもちろん大切ですが、一歩外に出て、様々なバックグラウンドを持つ人たちと交流したり、すこし違う目線から物事をとらえて行動に移すことは、とても貴重な経験になるということです。

そのような貴重な機会や経験に恵まれているのは、広島西ロータリークラブ インタークラブ委員会の皆さまをはじめ、今日この会場に来られている全ての方々のご支援・ご協力があるからです。

私たちインタークラブはこれからも真摯に、そして楽しく活動に取り組み、同世代の模範となるよう努力していきます。

本日は貴重なお時間をいただき、ありがとうございました。



ひろしま協創高校インタークラブ

山下 恵先生 西諭訪 未来さん 神原 優芽さん
(やました めぐみ) (にしづわ みらい) (かんばら ゆめ)

※会報雑誌・広報委員会 新本副委員長 ロータリーの友誌紹介

●会員記念日

祝 連続出席100% (4名)

中村君 (29年)

川西君 (29年)

上田君 (19年)

村上(健)君 (3年)

●スマイルボックス

RI2710地区グループ7 ガバナー補佐 大藤良治様より

「本日はよろしくおねがいします」ということで金一封をいただいております。

上田君（金一封）

8月5日付の産経新聞記事からです。

このたびAIG全英女子オープンゴルフで優勝した、渋野日向子選手は菓子類が好物のこと。

6月29日のアース・モンダミンカップのプレー中に上田昆布のおしゃぶり昆布「とろべ～」を食べている写真が載っていました。

きっとイギリスにも持参し、優勝の活力になったものと推察します。

渋野選手の活躍と上田昆布さんのご隆盛をお祈りしスマイルボックスにご案内いたします。



渋野 日向子
全英女子オープン覇者

ワールドレディースチャンピオンシップにて上田昆布「とろべ～」をラウンド中にモグモグ

梶本君（自主申告・ダブル）

チサンホテル広島を今年5月に三井不動産へ売却したのを機に、職業分類を家具販売から不動産賃貸業へと変更いたしました。（元々は、創業128年の家具屋です）現在、東京の品川区戸越に賃貸マンションを建築中です。名前は、パークウッド戸越公園で9月末に完成予定です。

今後は、東京のマーケットを中心に投資することを検討中です。チサンホテル広島をこれからもよろしくお願いします。

■卓話



被ばく医療と広島大学 原爆放射線医学研究所

広島大学原爆放射線医学研究所
所長 田代 聰 教授

原爆放射線医学研究所（原医研）は、1961年に原爆放射能医学研究所として設置されて以来、被爆者白血病をはじめとする放射線の人体影響に関する医療、研究に取り組んできました。放射線被ばく影響の基礎的な研究を行うだけではなく、被爆者に多く発症した白血病やがんの治療を行うための血液内科と腫瘍外科が設置されたことが大

原爆放射線医学研究所のミッション

原爆被ばくによる障害の治療および予防に関する学理ならびにその応用の研究



きな研究所としての特徴となっています。そして現在、原医研では、放射線の人体影響に関する生物学や物理学、疫学などの基礎研究から、緊急被ばく医療、がん医療、再生医療などの臨床研究、さらに被爆者医療に関わる資料についてのアーカイブや社会学的研究まで放射線被ばくに関わる幅広い領域での研究が行われています。

2011年3月に発生した東電福島第一原発事故では、広島大学病院と連携して事故発生直後から緊急被ばく医療支援チームを派遣しました。そして現在は広島大学が新しい原子力災害医療体制のもと「高度被ばく医療支援センター」と「原子力災害医療・総合支援センター」に指定され、原医研はこれらの事業の中心部局を担い、原発事故に備えるべく医療機関での教育、訓練などを行なっています。また2016年には、原医研を中心としたネットワーク型共同利用・共同研究拠点「放射線災害・医科学研究拠点」が長崎大学原爆後障害医療研究所、福島県立医科大学ふくしま国際医療科学センターとともに形成され、全国の当該分野の研究推進を行うことで福島復興に資する国際社会への情報発信や人材育成に取り組んでいます。

2020年は被爆75年にあたり、被爆者の多くがすでに亡くなられ、また被爆者医療の第一線で活躍してきた多くの先生がたも引退されました。今後、原医研では、広島大学病院や地域企業との連携を強化することで、新しい医療放射線研究やゲノム医療、再生医療分野などの研究を推進していきたいと考えています。さらに、これまで研究所で蓄積してきた知識や被爆医療に関する資料を次世代に継承する原爆医療アーカイブの構築にも積極的に取り組んでいきます。これらの取り組みを通して、原医研は放射線災害・医科学の分野で「世界をリードする研究所」を目指しています。

●卓話予告

日 時	テ　ー　マ
8/29(木)	「平和都市広島都市建設の歴史と今」 広島西ロータリークラブ元会員 浜井 順三氏



例会日・木曜日 12:30~13:30
例会場・ANAクラウンプラザホテル広島
会長 斎藤 昭一
幹事 加藤 博基

事務所・〒730-0011 広島市中区基町6-78
リーガロイヤルホテル広島13F
TEL 082-221-4894・FAX 082-221-4870
E-mail : hwrc@godorc.gr.jp
作成・会報雑誌・広報委員会

広島西RC

検索

